

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 指導者養成・研修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 競技スポーツ課 アスリート発掘・育成係 電話番号：058-297-7003

E-mail : c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費

452 千円 (前年度予算額 :

482 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	482	0	0	0	0	0	0	0	482
要求額	452	0	0	0	0	0	0	0	452
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

アスリートの競技力向上については、有能な指導者のもとでジュニア世代から成年までの系統的な指導が不可欠である。

第3期スポーツ推進計画（令和9年度～令和12年度）に向け、引き続き次世代アスリートの育成・強化に関わる指導者の養成が重要となる。そのためにも、全国で活躍している旬な指導者を講師として招聘し、これまでの経験や実績に基づいた指導方法や指導観について学べる研修会とし、これから時代を担うアスリートの育成に関わる指導者・指導者を目指す若者まで参加を広げ養成する。

(2) 事業内容

県内のスポーツ指導者が、日本を代表する選手を育成するための指導力を持つことを目的とする。県スポーツ科学センターの新設（平成27年度）及び高地トレーニングエリアの拡大（平成29年度）に伴い、従前の一般論的な内容だけでなく、科学トレーニングの有効性など、より専門性の高い研修を実施してきた。

さらに、女性アスリートを対象の研修を実施するなど、競技力向上を目指すうえで多角的な視点から研修内容の改善を図ってきた。

また、第2期スポーツ推進計画（令和4年度～令和8年度）では、次世代を担う優秀な指導者育成を柱としてきた。第3期計画でも、その柱を継続し、各競技団体だけではなく、中学校部活動の地域クラブ移行や指導者の高齢化などの課題から、受講対象を小中学校・高等学校教員及び部活動指導者、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等指導者、指導者を目指す大学生まで範囲を広げ、今日的課題をテーマに、トップアスリートの育成を目的とした研修会を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

指導者養成は、県の競技力向上に直結するため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	200	講師謝金
旅費	67	講師旅費等
需用費	95	事務用品
使用料	90	会場使用料
合計	452	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」において、指導者の養成は県の責務としている。

「清流の国ぎふスポーツ推進計画」において、指導者養成講習会の充実を図るとしている。

(2) 国・他県の状況

(公財) 日本スポーツ協会・(公財) 岐阜県スポーツ協会が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定と講習会を実施している。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の実績ある指導者が、日本一のチーム及び選手を育成した実績のある指導者から、これまでの経験を通して培ってきた最新の指導方法や指導観について直接学ぶ場として研修会を開催し、県内から日本一を目指す指導者を養成する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R26)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①研修参加人数	0	119	120	120	120/年	99.1%

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会を実施 実施日：11月13日（日）、11月20日（日） 計2回 人 数：計70名 対象者：県内競技団体・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団 ・中学校部活動・高等学校部活動の指導者
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会を実施 実施日：6月11日（日）、9月10日（日）、11月19日（日） 計3回 人 数：計203名 対象者：県内競技団体・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団 ・中学校部活動・高等学校部活動の指導者 <p>指標① 目標：130人 実績：203人 達成率：156.1%</p>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会を実施 実施日：12月14日（日） 1回 人 数：計119名 対象者：県内競技団体・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団 ・中学校部活動・高等学校部活動の指導者 <p>指標① 目標：120 実績：119 達成率： 99.1%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	ターゲットをトップ選手の育成に絞り、全国大会で実績を残した指導者を講師として招くことで、トップ選手を育成するためのノウハウや指導観を学ぶ機会となつた。優秀な選手を輩出するためには指導者の指導力向上は必要不可欠である。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	県内競技団体・スポーツクラブ・スポーツ少年団・中学校部活動・高等学校部活動の指導者が研修会に出席し、指導力及び健康管理の向上を図ることができた。
-----------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	目標値達成に向けて、県内競技団体及びスポーツクラブ等への研修会案内・周知の工夫、魅力ある講師の招聘に取り組む余地がある。
-----------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県内競技団体への研修会案内・周知だけでなく、様々な広報の方法を工夫する必要がある。また、講師の選定においても厳選し、それぞれの分野で活躍し牽引している指導者を招聘する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

参加者アンケートを実施し、指導者ニーズを探り、それに応える研修会とするために、年間2回、異なるテーマで実施することで、ニーズに合った研修会となるようにする。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	